

ひろしま型スマート農業推進事業の取組状況について

1 要旨・目的

ひろしま型スマート農業推進事業において、本県の中山間地域に対応したスマート農業技術を確立するとともに、これらを活用した経営モデルを構築し、普及させることにより、生産性の高い農業の実現を図ることとしている。

本事業において、県内で広く導入が見込める3つのテーマについて、企業グループと実証プロジェクトの内容が決定し、実証がスタートしたことを報告する。

2 現状・背景

- (1) スマート農業とは、「ロボット技術や ICT 等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業」と定義される。
- (2) スマート農業技術は、大規模・平坦地等においては実用段階に入った技術も見られるが、中山間地域においては総じて開発途中である。

3 概要

(1) 対象者

スマート農業技術を有する民間企業，農業経営体等

(2) 事業内容

ア 応募状況及び審査方法

4月28日から6月1日まで応募を受け付け、15の企業グループから提案があった。

(テーマ1：6提案，テーマ2：4提案，テーマ3：5提案)

審査は、農業者及び専門家の意見を聞いた上で選定委員会により、目指す姿，革新性，確実性及び普及性の4項目について、6段階の評価を行い、その合計点で順位を決定した。

イ 実証概要（審査結果）

テーマ	企業グループ (※は県内企業)	実証プロジェクトの概要		
		特徴	主な実証技術	実証地区
1	<ul style="list-style-type: none"> ・三栄産業(株)※ ・(株)ニッポー ・山梨大学 ・(株)Cubo Rex 	中山間地域の狭小ハウスに合わせた低コストな栽培管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・自動搬送・自動追尾ロボットによる搬送の省力化 ・収穫予測システムによる有利販売 ・経営管理システムによる作業工程の可視化 ・データ駆動型ハウス管理による収量向上 	山県郡 安芸太田町
2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ユニシス(株) ・(株)NTT アグリテクノロジー ・三栄産業(株)※ ・(株)ニシザワ ・(株)メディカル青果物研究所 	分散した農地に対応した作業の省力化，生産と流通の情報を連携させるシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・自動収穫機による収穫作業の省力化 ・自動かん水システムによる省力化及び収量向上 ・収穫予測システムによる労働力の適正配分と効率的な販売計画の作成 ・需要予測データの生産計画への反映 	東広島市 志和町

3	ぶどうの大規模栽培の実現に向けた効率的な作業体系の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ* ・山梨大学 ・ドリームファーム(株) ・arrow(株) ・ひろぎんエリアデザイン(株)* 	新規雇用者でも正確な作業が可能な栽培管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・AI解析に基づくスマートグラスによる摘粒作業の効率化 ・AIによる出荷時の等級判定の標準化 ・自動施肥かん水システムによる省力化及び収量向上 ・ドローンやセンサー活用によるリアルタイムセンシング 	世羅郡 世羅町
---	-----------------------------	---	-----------------------------	---	------------

ウ 進捗状況及び今後の対応

各テーマについて、企業グループ、農業経営体、県、市町等の関係機関でコンソーシアムを組織し、6月末から実証を開始している。

今後3年間で、各生産工程において、組み合わせる技術を順次導入し、課題の抽出と改良すべき点の検討に取り組み、技術や機械の改良等を繰り返しながら、経営モデルを構築する。

(3) スケジュール

実証は最長で3か年継続する。

(4) 予算

100,000千円（うち単県 53,250千円）

4 その他

県民に親しみをもってもらうために、愛称を「ひろしま seed box」に決定した。

※育苗箱（seed box）の中で種が発芽し大きく育っていくように、スマート農業の種（アイデア等）が広島県の農業を大きく変える技術に育っていくようなイメージ。